



## 沿岸生態系の保全や修復に関する研究

エスチュアリー研究センター 准教授 堀之内 正博

沿岸の浅海域・汽水域には海草藻場やマングローブ域、ヨシ帯など、様々な魚介類が多数出現する生物多様性の高い場所があります。これらの場所は、成長すると別の場所に移動するものや漁業対象種などを含む様々な魚介類の仔稚の成育場としても機能しており、沿岸生態系全体の高い生物多様性の維持や地域漁業資源の持続的利用に大きく貢献していると考えられます。しかし近年、沿岸開発や水質汚染などにより世界中でこれらの場所の劣化・消滅が報告されており、それらの保全や修復の策をたてるのが急務となっています。そこで、生物多様性の向上などに寄与する海草藻場の造成デザインの解明や、潮間帯海草藻場やマングローブ域、ヨシ帯が魚類に果たす機能の解明などに取り組んできました。

今後もこのような研究を継続・発展させることにより、沿岸生態系の保全や修復に関連した情報を蓄積していきます。



海草の種子を採取し苗を栽培



海草苗を植え付け海草藻場を造成



タイ南部における海草藻場造成プロジェクト

造成海草藻場

(苗植え付け後4年経過。干潮時撮影)



造成海草藻場に出現した稚魚